

中学校(学級)における実践②(9月)

「間違い探し」(構成的グループエンカウンター)

- 本時のねらい
 - ・ グループで活動することで、互いに認め合う大切さに気付く。
 - ・ グループで協力することを体験し、友人のよさを発見する。
- 展開 (50分)

学 習 活 動	教師の働き掛け	準備物
<p>1 ウォーミングアップをする。</p> <p>「テレパシー」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① テレパシーを伝える道具を決める。(ペン等)</p> <p>② 1～3までの好きな数字を1つ決めて、10秒間テレパシーを送る。(相手に無言で伝える)</p> <p>③ 時間になったら、リーダーが「せーの」と声を掛け、数字を言い合う</p> <p>④ 交代して、2回ずつ行う。</p> </div> <p>2 活動の内容や進め方を知る。</p> <p>「間違い探し」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① グループに1枚ずつ配られた絵(シートA)と5m離れた場所に貼られた絵(シートB)との違いをグループで探す。</p> <p>② 解答の絵と見比べて、答えを確認する。</p> <p><ルール></p> <p>1. 何度行ってもかまわない。</p> <p>2. 1回に絵を見に行く人は、1人である。</p> <p>3. 絵を見に行く人は、何も持っていない。</p> </div> <p>3 シェアリングをする。</p> <p>(1) 個人で振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りシートを書く。 <p>(2) グループで振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が間違いを見つけたときの気持ちや友人が間違いを見つけた時の気持ちなどについて話し合う。 <p>(3) 全体で振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループで振り返ったことについて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊張をほぐし、次の活動につなげる。 ・ 互いの数字が合った回数を聞いたり、生徒にインタビューをしたりして、簡単にシェアリングを行う。 ・ グループを生活班で編成する。 ・ シートAに取り組みせる。 ・ エクササイズのリールと制限時間が20分であることを確認する。 ・ 時間になったら、解答の絵を配る。 ・ 今の気持ちを素直に書くように促す。 ・ 仲間を大切にしよう気持ちを発表できるように声を掛ける。 ・ 本時の活動を振り返り、友人と互いのよさを伝え合うことや友人のよ 	<p>ストップウォッチ</p> <p>シートA シートB 解答の絵</p> <p>振り返りシート</p>

	さを再発見できたかなどを発表させる。次の活動につなげるようにする。	
--	-----------------------------------	--

《参考文献》

- ・ 日本GWT研究会著 『協力すれば何かが変わる《続・学校GWT》』 平成6年 遊戯社 pp.53-58

○振り返りシートより

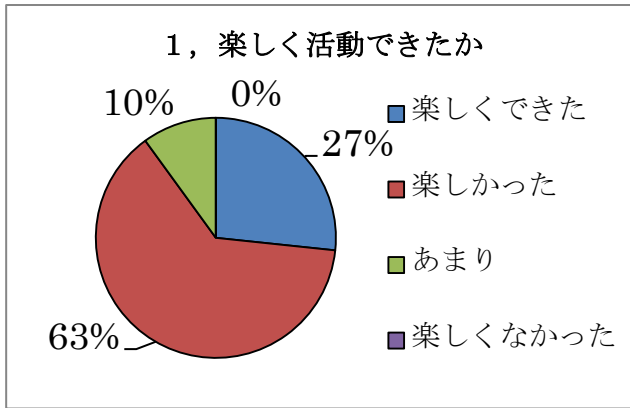


図1 授業のアンケート結果

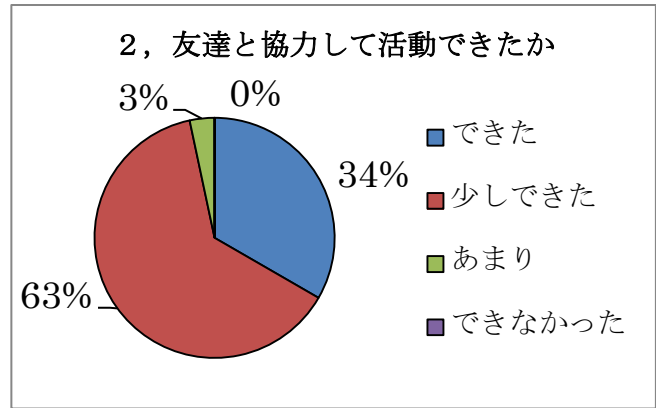


図2 授業のアンケート結果

<生徒の感想より>

○自分が間違いを探したとき、どのような気持ちでしたか。

- ・ 気持ちがよかった。
- ・ もっと見付けたい。
- ・ 難しかったけど見付けたら嬉しかった。
- ・ みんなの役に立てて嬉しかった。
- ・ 嬉しかった。もっと見付けようと思った。

○友人が間違いを見付けた時はどんな気持ちでしたか。

- ・ すごい記憶力だなあと思いました。
- ・ よくやったと思った。よく気付いたなーと思った。
- ・ 自分が見付けていないところを見付けてすごいなと思った。
- ・ 自分が見付けられなかったところを見付けていてすごいと思ったし、ありがたかったです。

○感想があったら書いてください。

- ・ 今日、みんなで協力できてとても楽しくできました。こういう機会があるととても絆が深まるので、よかったですと思いました。
- ・ 今日、班のみんなと協力して間違い探しのできたのでよかったです。
- ・ この授業をしてみて普段は、話をしない人とも一緒に協力できたのでそういう所はよかったです。
- ・ みんなで協力し、より仲間との絆が深まりとてもよい時間を過ごせたと思いました。
- ・ 今日、間違い探しやテレパシーをして、みんなで協力できたし楽しむ事ができてよかったです。
- ・ 間違い探しは班の人と協力できたので嬉しかった。

- ・みんなと協力できるかなって心配だったけど、ちゃんと協力できたのでよかった。
- ・協力する事の大切さを知る事ができた、いい時間だったと思いました。

○授業を振り返って

2学期から新しい生活班を編成した。その生活班で行う「間違い探し」を通して、グループで協力することや友人のよさを再発見するようにした。ほとんどの生徒は、振り返りシートに「みんなで協力できてとても楽しくできた」と書いていた。このことで、活動に興味をもち、間違い探しを行いながら活動を工夫していたグループもあり、グループによる課題達成ができたと考える。

【集団について】

「間違い探し」は、グループで活動するためのリレーションづくりとルールに従って活動することを融合したエクササイズになっている。グループごとの活動の様子をうかがうと、活動の後半は、グループごとに作戦を立て、取り組み方に工夫が見られた。今回のエクササイズは、グループで協力することを体験したり、友人のよさを再発見したりすることができたと考える。

【個人について】

Cは、友人と話をしたり一緒に活動したりすることを苦手にしており、活動中もグループのメンバーと話していなかった。そこで、教師がグループのメンバーに声を掛けて、Cに働きかけたところ、Cは、間違いを見付けに行くことができた。Cは、振り返りシートに「エクササイズをして思ったことは、もうちょっと頑張りたいかったです」と記述している。授業後、Cは教師のところへやってきて「先生ありがとう」と言っていた。Cは、協力することを体験することができたと考える。

Fは、振り返りシートに「みんなと協力できるかな？と心配だったけど、協力できたのでよかった」と記述している。最初は、緊張してグループのメンバーと話すことができなかったが、時間が経つにつれて、活動を促されつつではあるが、活動の様子が理解できると自分の考えを言いながら、活動を進めることができていた。